

阿波市議会だより

第60号

年4回発行 [令和3年9月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <https://www.city.awa.lg.jp/gikai/>



令和3年第2回 阿波市議会定例会の概要

第2回定例会は、6月7日から6月30日までの24日間の会期で開かれました。開会日には表彰状の伝達があり、全国市議会議長会からは、阿部雅志議員、森本節弘議員、吉田稔議員、松村幸治議員が表彰され、四国市議会議長会からは、原田定信議員、阿部雅志議員、櫻原賢二前議員が表彰されました。続いて藤井市長から、令和3年成人式、新型コロナウイルスワクチン接種、モンゴル国への消防ポンプ自動車贈呈式、企業立地及び次世代型園芸の実証に関する協定書の締結式、防災訓練、吉野旭集会所落成式等についての行政報告がありました。

また、令和3年度一般会計補正予算、条例の一部改正などの議案について概要と提案理由の説明がありました。代表・一般質問は6月16日から17日の2日間に行われ、10人が市政全般について理事者の考えを問う、防災・感染症対策・産業・衛生・福祉・子育て支援・教育・建設・情報関係等について議論しました。22日に総務、23日に文教厚生、24日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決しました。追加議案として、予算案件1件、人事案件4件が提出され、いずれも可決・同意としました。

令和3年第2回 阿波市議会臨時会の概要

第2回臨時会が8月11日に開かれ、市長提出議案の条例案件、契約締結案件、人事案件の3件について概要と提案理由の説明があり、いずれも可決・同意としました。

代表質問

森本 節弘 議員
(志政クラブ)



問 平成29年5月19日の市長の所信表明において「9つの基本施策」を打ち出し進めてきたが、令和3年5月13日の所信表明では「3つの柱」を施策の中心と捉えている、その考えは。

答 「9つの基本施策」の主な事業として、子育て支援、農業振興、安全・安心な基盤整備、企業誘致、スマートICの設置等に取り組んできた。令和元年からは「安全・安心のまちづくり」「活力あふれるまちづくり」「子育て支援のまちづくり」の3つの柱に分かりやすく整理し、施策の中心に据え持続可能なまちづくりに取り組んでいる。

問 板名用水(古毛川)の改修状況は。

答 昨年、機能診断が実施され、上板町境から上流へ約1kmについては、放置しておくも機能に支障がでる状態及び早急に劣化対策が必要な区間だと診断された。板名用水土地改良区より上板町境から上流へ約440mの区間施行の要望があったことから、県が主体となり、今年度実施設計を行い、令和4年度から2か年で対策工事を実施する予定となっている。

吉田 稔 議員
(阿波みらい)



問 新型コロナウイルス感染症対策についてどのように対応されているのか。

答 現在、人的・物的被害が大きいと想定される22か所のうち、

問 高齢者対策についての「2025年問題」の対策について市長の考えは。

答 全国で約800万人の「団塊の世代」の方々が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、本市の高齢化率が39.3%になると予想されている。将来的には肩車型の社会保障財政になると言われており、高齢者だけでなく、次世代に対しても重要な問題となってきた。様々な施策展開を図り、「地域共生社会」の実現を目指している。

問 「阿波市子ども・子育て支援条例」の制定について市長の考えは。

答 条例の制定が契機となり、保護者、こども園や学校、地域が連携体制を構築し、同じ目標を共有することは大変重要である。「子育てするなら阿波市」宣言を全国に向け、情報発信することにより、交流人口や移住人口の増加に繋がると考えており、スピード感をもって前向きに検討していく。

藤本 功男 議員
(はばたき)



問 新ごみ処理施設の建設について、数あるごみ処理方式の中からどのような考えで発酵乾燥による燃料化方式を選んだのか。

答 環境に優しい、経済性に優れている、循環型社会の形式に寄与できる、ダイオキシンが発生しない、二酸化炭素排出が抑制できる安全・安心な施設である、という点で選定している。また、5件のごみ処理施設建設候補地の中から、有識者を含めた新ごみ処理施設整備検討会により19項目につき点数評価し厳正に審議した結果、東長峰の民有地を最優先候補地と判断した。

問 新ごみ処理施設の第1回目の説明会を終え、周辺住民の受け止めをどのようにとらえているのか。

答 住民の貴重なご意見、ご提言をいただいた。さらに、ご理解、ご協力をいただけるよう、誠心誠意対応していきたい。

問 今後の説明会等のスケジュールを、どのように進めていくのか。

答 2回目の説明会や参加していない方への先進地視察を進めたい。

問 施設運営(公設公営、民設民営等)のメリット、デメリットは何か。

答 公設公営は、資金調達が容易で、施設運営の責任が明確。しかし、単年度の維持管理費が大きい。民設民営は、事業費の削減や技術力が生かせる。しかし、委託費や倒産のリスク等の問題があり、経営監視が必要である。

問 豪雨時における浸水被害が予想される際、事前放流等により水位を下げ堤体の維持や下流域の防災・減災に協力いただけるよう、土地改良区に対し周知を徹底していきたい。

答 豪雨時における浸水被害が予想される際、事前放流等により水位を下げ堤体の維持や下流域の防災・減災に協力いただけるよう、土地改良区に対し周知を徹底していきたい。

一般質問

問 固形燃料のスムーズな受け入れ先確保のための戦略をどのように描いているのか。

答 製紙会社、バイオマス発電、温浴施設、農業系の施設など、調査を行い、検討を進める。

問 プラスチック資源循環と燃料化方式をどうつなげ、プラスチック削減や脱炭素化を図っていくのか。

答 プラスチックの資源循環について、国や県の方針をもとに取組を進め、燃料化方式と併せて循環型の社会形成に向けて検討していく。

木村 松雄 議員
(志政クラブ)

問 災害時における対策について。

答 市内にある指定避難所33か所は全て耐震化が完了している。避難所における備品については、地方創生臨時交付金を活用し、パーティション、シェルター、テント等を購入し環境改善を図っている。今後においても、国や県と連携することで今までに経験したことのない「複合災害」から市民の皆様の生命、財産を守るべく、防災・減災対策に取り組んでいく。

問 今後の財源確保及び業務効率化を踏まえた行政運営について副市長の考えは。

答 遊休資産の積極的な活用や議員提案の「公用車」や「ごみ袋」の広告事業、「企業版ふるさと納税」についてもしっかりと取り組んでいく。加えて、地域経済活性化策の一例として、企業誘致や市内業者の受注機会の確保、又、他市で導入が進められているRPA等の活用検討を進めていく。最小の予算で最大の効果が発揮できる安定した行政運営を行っていく。

問 阿波市の財政状況について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況

答 RPA:コンピュータ上で人間の代わりに業務をこなして

問 犬の糞の処理について。

答 県動物愛護管理センターと協力しながら、対策を進めたい。

坂東 重夫 議員
(はばたき)

問 新ごみ処理施設のCMの進捗状況について。

答 7月頃から放送を考えている。

後藤 修 議員
(はばたき)

問 ごみ分別アプリとは、どのようなものか。

答 ごみ収集カレンダーが確認できる、収集が変更になる場合に、お知らせ記事として確認ができるなど、使いやすい機能を備えている。

問 資源ごみ(雑紙)を指定ごみ袋と交換出来ないか。

問 資源ごみ(雑紙)を指定ごみ袋と交換出来ないか。

答 先進事例なども参考に今後十分検討していきたいと考えている。

問 合併処理浄化槽について、近隣市町村と比べた補助金額の違いは。

答 汚水処理人口普及率の向上のため、転換工事に対し補助金の上乗せを実施している。

問 阿波っ子スクールのタブレット端末の活用について。

答 子どもたちの特性に応じて調べ学習や学習成果の発表、友達や先生との意見交換などの学習にも活用を考えている。

問 成人式を中止にした経緯について。また、来年1月開催はできないのか。

答 皆様の健康と安全を最優先に考え、中止とした。また、1月開催としたとき、式典が中止になった際には、再度ご迷惑をおかけしてしまうことを考え、開催できないと判断した。なお、安全性が確認できれば、「写真撮影の機会」などの代替イベントを検討したいと考えている。

答 本市は現行どおり、障害者総合支援法に基づく補装具費支給制度の運用を図っていく。

問 平成27年に2,400戸あった販売農家は今どれくらいか。昨年度に大型特殊免許を取得した人数はどれくらいか。

答 本市の販売農家は昨年度の農林業センサスによると1,848農家となっている。大型特殊免許は県立農業大学校や市内の民間の自動車学校に尋ねると合計で約500名の方が取得。

問 徳島県で大型特殊免許（農耕者限定）を取得する方法は。

答 4つの方法がある。

①県立農業大学校。講義や実習を9日間受講、約1万円の費用を要する。

②民間の自動車学校。大型建設機械での実習。8万円程度の教習料。

③松茂町の県運転免許センターでのトラクターによる実技試験。受講料6千円程度。

④県のJAGグループが実施する農耕者限定の技能講習会。講習と実技試験など2日間で取得。受講料1万円程度。

問 学校の女子トイレ個室に適切な返却不要の生理用品の設置について、市の考えは。

答 個室には設置していないが、全ての学校の保健室や職員室に返却不要の生理用品が備えられており、必要に応じて適切に提供している。

問 令和元年度、特定保健指導の実施率は徳島県が77.7%で全国トップ。本市の特定保健指導率は国や県に比べてどうなのか。

答 特定保健指導率 本市36.6% 国38% 県36.9%
特定保健指導率 本市86.6% 国29.3% 県77.7%
保健指導によりメタボ該当者やその予備軍、高血圧症の方の割合の減少や糖尿病の治療にも改善が見られた。

中野 厚志 議員
(日本共産党)



問 市役所等の障がい者用駐車場の利用規定や扱いについて。

答 駐車場の利用希望者に対し、徳島県が利用証としてパーキングパーミットを交付している。利用については、パーキングパーミットを持って無くては、障害のある人、高齢者や妊産婦がをされている方など身体の機能上の制限を受ける方は、利用可能となっている。

問 補聴器購入の補助金の増額と、軽度や中度の難聴者への補助制度の創設は考えていないのか。

武澤 豪 議員
(志政クラブ)



問 職員防災訓練の成果についてどのような内容だったか。

答 今回の訓練では職員が徒歩や自転車でも1時間以内に参集することができ、3密の回避、パーティションの設置や段ボール仮設ハウス設置など新型コロナウイルス感染症対策を講じながら迅速に設営できた。

問 小学校区自主防災組織連合会の設立について。

答 現在世帯数の90%にあたる289の自治会で自主防災組織が結成されており、それぞれの自主防災組織を支援する連合会を中心とした活動の展開が期待されている。小学校区ごとの連合会は林、御所、八幡、土成、市場の5つの連合会が結成されており、他1校区についても結成に向け進めている。

問 阿波町伊沢小学校区に自主防災組織を設立したいと考えているが協力してもらえないか。

答 連合会設立にあたっては、役員会や設立総会、設立後においても防災訓練や組織運営等々についても支援、協力させていきたいと考えている。今後自主防災組織連合会の100%結成を推進し、「誰もが安全・安心して暮らせるまちづくりに」の実現に向け、防災・減災対策の充実強化を図りたい。

原田 健資 議員
(無所属)



問 堤防道路、阿波町日開谷橋から西条大橋、上板町境までの改良について、東西の通動しやすいまちづくり、ルートづくりをお願いしたい。市外来訪者のための道標も必要ではないか。

答 地域経済活動を支えることにも、鳴門池田線、徳島吉野線のバイパスの役割を担う道路として利用されているが、県道香美吉野線の東側のごく一部は、整備が行われていないもの、それより西側については、ほとんどが未改良区間である。今後、県への要望を行うとともに、市道部分は路肩舗装を進め道路整備の推進に努める。

問 鳴門池田線と192号線をつなぐ県道津田川島2号線拡幅と、興崎と香美を結ぶ市道の千田橋までの延伸について。また、くねくねした箇所や急カーブの直線化、潜水橋の退避場をもっと長く改良を。昔からほつたらかしの主要地方道2号線の代わり、市道興崎田淵線を潜水橋まで伸ばしてほしい。学島島間流域最長約7kmも大橋がない。

答 局部改良については県に要望を重ねてゆく。潜水橋の大規模改修は難しい。危険箇所については県と協議を進める。市道については、現在、国の補助金を活用し、市内で4路線の改良工事を進めているので現時点で難しい。

問 路線バス、学界目線の外国人など誰でも乗れるバスの復活を。8便全廃でなく2便は残すべきである。

答 「阿波市デマンド型乗合交通」を運行しており、路線バスなどの新たな交通手段の確保は

考えていない。市民以外が利用する公共交通については、阿波地域公共交通活性化協議会で調査研究をする。



問 今年度の機構改革としては、阿波市の「情報化」、「デジタル化」の推進のため、「市政情報課」を設置したが、どのような取り組みをするのか。また、情報セキュリティについては、どのような取組を考えているのか。

答 これまで各部署や各業務を分散的に運用してきたが、一つのチームとして取り組み、「情報発信力の強化」や、「行政や地域のデジタル化」を推進し、更には、国や県の動向を注視し、市民が望むサービスを提供できるよう取り組む。情報セキュリティについては、業務上許可された職員以外は使用できない仕組み作りと、全職員に対する意識向上の研修により、サイバー攻撃や、ウイルスに対して強固な仕組みを構築している。

問 合併特例債の発行期限が2025年度で終了し、これに代わる財源として、企業誘致を考えているが、企業誘致によりどの程度の財源確保ができるのか。

答 自主財源の確保のため、遊休施設の貸付やふるさと納税の推進など様々な財源確保策を組み合わせて市の財政基盤の充実強化を図っていく。とりわけ、企業誘致は、直接的にも間接的にも、効果が大きい。

問 阿波市の東西方向の交通の流れを改善するため、市道奈良坂東西線を整備しているが、進捗状況を伺いたい。



「阿波市デマンド型乗合交通」を運行しており、路線バスなどの新たな交通手段の確保は

それより西、津田川島線までのバイパス区間520mで事業を進めている。本年度内に、現道拡幅区間のうち約480mの改良を終えたい。

議案番号及び議決結果一覧表

令和3年第2回阿波市議会定例会（6月7日～6月30日）

議案番号	議案名	議決結果
議案第74号	令和3年度阿波市一般会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第75号	阿波市消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第76号	阿波市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	阿波市企業立地促進条例の一部改正について	原案可決
議案第78号	阿波市工場立地法地域準則条例の一部改正について	原案可決
議案第79号	阿波市交流公園の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第80号	吉野旭集会所の指定管理者の指定について	原案可決
報告第2号	令和2年度阿波市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第3号	令和2年度阿波市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	—
報告第4号	令和2年度阿波市水道事業会計予算繰越計算書について	—
議案第81号	令和3年度阿波市一般会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第82号	監査委員の選任について	同意
議案第83号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第84号	農業委員会委員の任命について	同意
議案第85号	公平委員会委員の選任について	同意
—	選挙管理委員会委員の選挙について	選挙
—	選挙管理委員会委員補充員の選挙について	選挙
—	阿北環境整備組合議会の議員選出について	選挙
—	阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	選挙

令和3年第2回阿波市議会臨時会（8月11日）

議案番号	議案名	議決結果
議案第86号	阿波市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第87号	土成小学校校舎大規模改修その他工事変更請負契約の締結について	原案可決
議案第88号	監査委員（議会選出）の選任について	同意

活動状況報告

●委員会等の開催状況（6月～8月）

令和3年	開催内容
6月7日	第2回阿波市議会定例会本会議（開会）
16日	第2回阿波市議会定例会本会議（代表・一般質問）
17日	第2回阿波市議会定例会本会議（一般質問）
22日	総務常任委員会
23日	文教厚生常任委員会
24日	産業建設常任委員会
30日	議会運営委員会 全員協議会
7月26日	第2回阿波市議会定例会本会議（閉会）
8月4日	全員協議会 議会運営委員会
11日	全員協議会 第2回阿波市議会臨時会本会議 議会広報特別委員会
23日	議会運営委員会
30日	第3回阿波市議会定例会本会議（開会）

答 市道奈良坂東西線は、市役所の前を西に進み、主要地方道津田川島線につなぐ延長1,020mの路線で、市場中学校北側の現道拡幅区間500mと、

議会だより編集雑感

令和3年6月議会も終了し、阿波市議会議員として早3年半が過ぎました。阿波市議員の一人として、阿波市の発展のために市民の皆様への要望や提案に沿っているのかと葛藤しております。国は11月末までに国民全員にワクチンの接種を完了する予定であり、阿波市においても多少の混乱もありましたが、順調に接種が進んでいるようです。

新型コロナウイルスが一日も早く収まり、市民の皆様が安心して暮らせる阿波市の実現に向け、引き続き努めます。

(武澤 豪)